

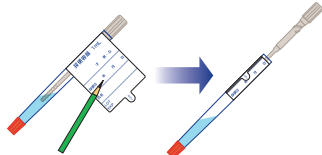
# テストメイト ラピッド ピロリ抗原<sup>®</sup> 【操作方法】

## 正しい便の取り方

少量の便を患者さんご自身で採取していただきます。

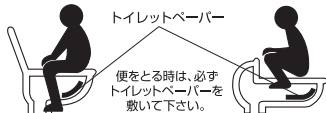
### 1 準備

容器の白ラベルを途中まではがし氏名・日付等を記入し、また巻いて下さい。グレーの採便棒を回して引き抜いて下さい。



洋式 いつもと反対向き!

和式



トイレトペーパー  
便をとる時は、必ず  
トイレトペーパーを  
敷いて下さい。

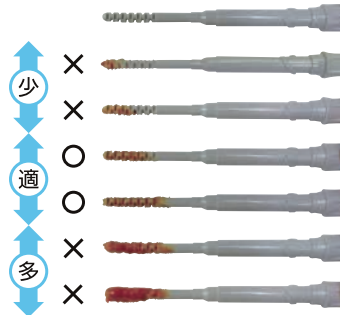
### 2 便をとる

採便棒先端の溝が便でうまるように便をとって下さい。



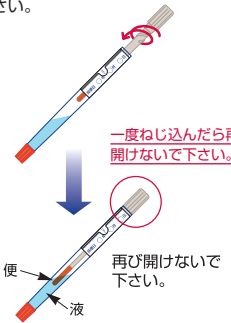
**便が多すぎると正確な検査ができないことがあります。**

便の量は下の写真を参考にして下さい。多くとれてしまった場合には、トイレトペーパーでぬぐい取って下さい。その際、トイレトペーパーが採便棒に残らないよう、ご注意ください。



### 3 便をとったあと

採便棒を容器にもどして根元までしっかりねじ込んで下さい。



一度ねじ込んだら再び  
開けないで下さい。

再び開けないで  
下さい。

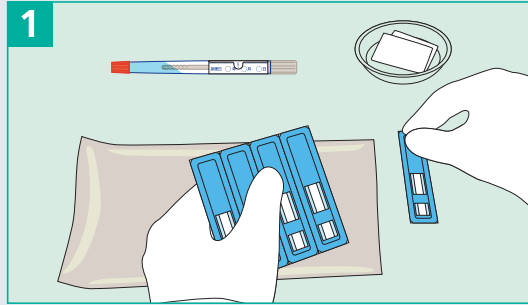
### 保管上の注意

- 添付のビニール袋に入れて提出まで冷暗所に保管して下さい。
- 採便後は、すみやかに提出して下さい。

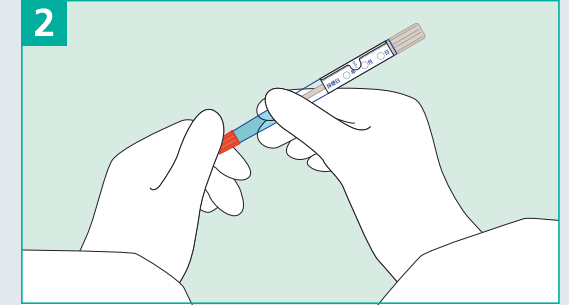
### お取り扱い上の注意

- 便が古くなると正しい結果が得られませんので、出来るだけ新しい便を提出して下さい。
- 採便後の採便容器は、冷暗所に保管して下さい。
- 便をとる目的以外には使用しないで下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 採便棒を肛門に差し込まないようにして下さい。
- 水流水が付かないように便をとって下さい。
- 採便容器のオレンジキャップは、絶対にずしたり、ゆるめたりしないで下さい。
- 採便容器には防腐剤が含まれています。誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。
- 採便棒を容器に戻してねじ込む際には、手に刺したり指等を挟まないようにして下さい。

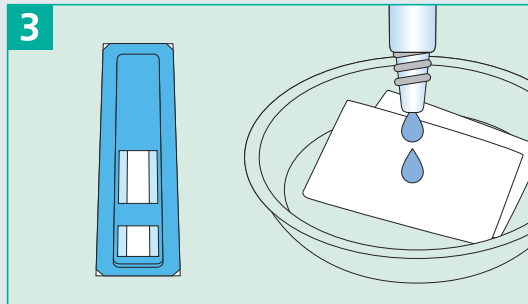
ご使用の際は、添付文書をよくお読み下さい。



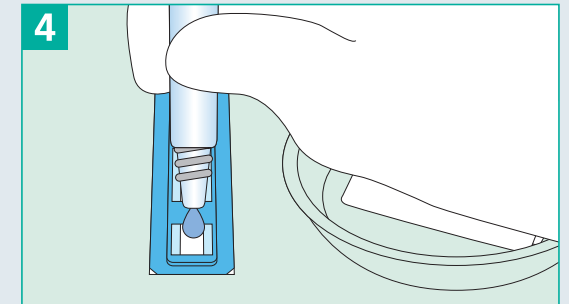
必要な数の反応シートをアルミ袋から取り出します。使用しない反応シートはすみやかにアルミ袋に戻し、必ずチャックをしめ、封をして下さい。



採便容器を縦に数回強く振って下さい。採便容器の先端(オレンジ色)の滴下部を開放します。



滴下ノズルを下に向けて、採便容器を垂直に持ち、容器の中程を軽く押し最初の2滴を捨てます。



採便容器の便懸濁液を反応シートの試料滴下部に正確に1滴滴下します。10分間10～30℃に静置した後、判定窓に現れる赤色ラインを目視観察します。

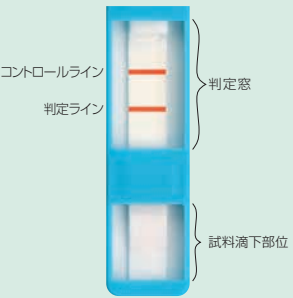


### 操作上の注意

- 糞便検体はなるべく新鮮な便を用いて下さい。糞便検体をやむをえず保存する場合には、密閉して7日までは25℃以下で保存して下さい。7日を超える場合には、2～10℃に冷蔵保存して下さい。長期間保存する場合は、-20℃以下で凍結保存し、使用時に室温にて融解して下さい。検体の凍結融解の繰り返しは避けて下さい。
- 採便後はすみやかに検査して下さい。採取した採便容器をやむをえず保存する場合には、7日までは25℃以下で保存して下さい。7日を超える場合には、2～10℃に冷蔵保存して下さい。また、冷蔵した採便容器は、室温に戻してから検査して下さい。

# テストメイト ラピッド ピロリ抗原<sup>®</sup>【判定方法】

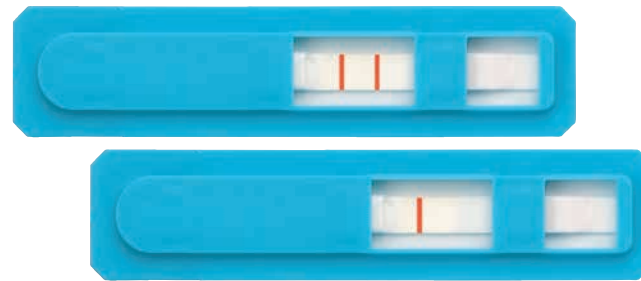
## ◆判定

判定窓の上方のラインはコントロールライン、  
下方のラインは判定ラインです。

判定部のライン	判定
 <p>コントロールライン 判定ライン</p> <p>判定窓</p> <p>試料滴下部位</p>	<b>陽性</b> 判定窓にコントロールラインと判定ラインを認めた場合、糞便中のヘリコバクター・ピロリ抗原陽性(+)と判定します。
	<b>陰性</b> 判定窓にコントロールラインを認めた場合、糞便中のヘリコバクター・ピロリ抗原陰性(-)と判定します。
	<b>再検査</b> 判定窓に判定ラインのみを認めた場合、また、判定窓にラインが認められなかった場合、操作が不適当又は、試薬が劣化していた等の可能性があります。別の反応シートで再検査して下さい。

## ◆使用上又は取扱い上の注意◆

- 10分間10~30℃に静置した後、判定窓に現れる赤色ラインを目視観察します。
- 判定は検体を滴下して10分後に明るい場所で行って下さい。
- 糞便検体の取り扱いの際には感染の危険性を考慮し、十分注意して下さい。
- キットは貯法(室温)に従い、保管して下さい。凍結保存はしないで下さい。
- 反応シートを冷蔵保存した場合には、冷蔵庫から出して30分以上放置し、室温に戻してから使用して下さい。
- 開封後の反応シートは吸湿防止のため、同封の乾燥剤と共にアルミ袋に戻し、必ずチャックをしめ、封をして下さい。ただし、使用済みの反応シートは戻さないで下さい。
- 反応シートの判定窓及び試料滴下部位を直接手で触れないで下さい。
- 反応シートの変色・変形しているものは使用しないで下さい。
- 本キットによる判定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果と合わせて、担当医師が総合的に行って下さい。




(実物大)



ご使用の際は、添付文書をよくお読み下さい。

◆製品情報は、POCTホームページ [www.bd.com/jp/poct/](http://www.bd.com/jp/poct/)

製造販売元  
 **わかもと製薬株式会社**  
〒103-8330 東京都中央区日本橋本町2丁目2番2号

販売元  
 **BD 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社**  
カスタマーサービス ..... ☎ 0120-8555-90

\*テストメイト ラピッド ピロリ抗原はわかもと製薬株式会社の登録商標です。  
\*BD、BDロゴおよびエグザマンはBecton, Dickinson and Companyが保有します。©2015 BD